

コラム 土研新技術ショーケース 2015 における新たな取組み

東京開催(9月)では、“これからの点検・維持管理技術”をテーマに新技術の紹介を実施し、新たな取組みとして『「これからの技術開発の向かうべき方向」について』と題して基調講演、パネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションに先立ち、基調講演では、パネリストでもあるアジア防災センター長、早稲田大学名誉教授の濱田氏、防災科学技術研究所レジリエント防災・減災研究推進センター審議役の天野氏、北海道大学大学院農学研究院教授の中村氏より、それぞれの経験と立場から「国土強靱化の課題と防災分野の国際協力」、「これからの技術開発の向かうべき方向」、「人口減少、気候変動下における新たな環境技術」について講演いただきました。続けて、パネルディスカッションの冒頭に国土交通省大臣官房技術調査課長の五道氏から、産学官連携の事例や国土交通省の技術研究開発推進の諸施策や成果について紹介があり、4名でパネルディスカッションを行いました。土木とその関連する分野は広く、様々な方向性や観点があること、また分野間の連携や俯瞰的全体像の見える化が必要であることが改めて認識され、今後の研究・技術開発に反映できる意見をいただくことができました。

福岡開催(10月)では、技術連携協定を締結している熊本市から後援をいただき、さらに、熊本市の事業や新技術活用に関する取組みを紹介したパネル展示を実施しました。ショーケース前日に開催した意見交換会にも参加いただき盛会となりました。

また、静岡開催(12月)は、平成24年度以来の地方整備局の本局所在地以外での開催ということもあり、関係機関の地方支部以外にも県建設業協会や県コンサルタンツ協会へ後援を依頼し、積極的な参加を呼びかけた。静岡開催ということもあり、平成25年度の名古屋開催と比較すると静岡県内からの参加者の割合が2%から70%程度に増加し、これまでショーケースに参加いただけなかった方々にも参加いただきました。

今後も研究開発成果の最大化に向け、本ショーケースの内容の充実や改善等を重ねるとともに、各方面との連携を深め関係各機関等への周知を積極的に行うことで、さらに多くの技術者等の参加を促し、土研の研究成果や開発技術を社会資本の整備や管理に活用してもらえるよう努めたいと考えています。



写真-1 基調講演(東京開催)



写真-2 熊本市のパネル展示